

しらたか 広報 たか

9.12
SEP 2008
NO.1000

広報しらたか1000号記念特集②

第32回白鷹鮎まつり⑥

白鷹町子ども議会が開催されました⑧

町長選挙・町議会議員補欠選挙⑩

デマンドタクシーのお知らせ⑫

(仮称)白鷹町文化交流センター愛称決定⑬

白鷹町誕生54周年記念

地区対抗地区対抗駅伝競走大会⑯



白鷹町の広報紙創刊号「町報白鷹 第1号」

広報しらたかは1000号になりました。

みなさんとともに歩んだ広報紙 「町報」が伝えた、情熱、感動、ふれあい

「広報しらたか」は、白鷹町誕生（町制施行）とともに、昭和29年10月23日に「町報白鷹」として創刊しました。

以来54年。当町も大きな成長・発展を遂げるなか、本号で1000号を迎えることができました。

広報紙は町民の皆さんと町のかけ橋であり、白鷹町の歩みを記録する貴重な資料でもあります。紙面をたどれば、多くのかたがたからの情報提供やインタビュー、写真、心あたたまる記事の投稿、貴重なご意見などのご協力をいただき、町民の皆さんと共に歩んできています。

この記念すべき1000号では、その足跡を100号ごとに振り返ります。



第100号（昭和39年3月15日発行）

●諏訪堰 見事に生まれ変わる【表紙】

10kmに及ぶ当時の諏訪堰幹線水路は、全線にわたり狭く、勾配も不整備のため、流速も緩やかで、漏水、浸透がひどく、毎年水不足による干ばつの被害が出ていたということ。そのため、ブロックの組み立てと、コンクリートに改修する工事が始められた様子を伝えています。写真は改修された諏訪堰の一部です。その後行われた東根地区の水田区画整理と併せて、農業の近代化が大きく進んだことがうかがわれます。

●東京で「出稼ぎ青年の村」を開設

出稼ぎのため、冬期間、町では青年がほとんどいなくなり、組織活動もできない状況だった時代。地元と出稼ぎ者の交流により心を通わせ、出稼ぎ者にも健全に働いてもらいたいと、町が主体となり東京都で「出稼ぎ青年の村」を開設した様子です。町などの関係者と出稼ぎ者23人が、抱えている課題を出し合いお互いに理解していこうとさまざまな議論がなされました。

現在では、職種や産業構造も変わり出稼ぎ者は数人になりました。出稼ぎの時代があったからこそ、わたしたちの現在の安らぎある暮らしがあることを忘れてはいけません。



第200号（昭和49年10月15日発行）

●20周年記念「歴史を振り返る」シリーズ【表紙】

大正初期の乗合馬車の様子が写っています。

●追跡 青年群像

ぶどう農地の造成が盛んに行われ、現在でいう地域ブランド「深山のぶどう」の確立を目指していたこのころ。その深山地区にスポットを当て、地域に生きる若者たちと先輩がたの座談会の様子を紹介しています。

ここ1年数カ月で14組が結婚したということ。嫁いできた奥様たちは「深山はのんびりして、暮らしやすいけど、なんと言っても稼がんなねところだ」と言っています。それに対して、区長らは「どんどん改善して行かねばならない」と返す。青年たちは「リーダーがとても理解がある。だから深山は伸びてきている」と敬意を表しています。そんな団結力の高まりが、道路や農地の基盤整備が進んでいる背景だと書いていました。

現在深山地区では、イベントを開いたり、「いきいき深山郷づくり推進協議会」などを組織したりと、今の青年たちもかつての若者も一緒になって、地域を盛り上げていこうという気運が高まっています。それは一筋縄ではなく、連綿と受け継がれてきた地域の思いがあるからだと再認識できます。



第300号（昭和54年3月22日発行）おしらせ版

●わたしたちの足、長井線！

国鉄全線の約22.5%を民営に移管し、民営の鉄道かバス輸送にするという国鉄ローカル線の合理化案が出され、長井線も対象の一つに数えられているという記事を掲載。その合理化案を白紙に戻すために、町民のご理解とご協力をお願いしています。

この時期には利用者も多く、今よりも増して「町民の足」という意識の強かった時代でした。このあと、さまざまな運動や議論が展開されました。その後、JRの設立とともに長井線はフラワー長井線として生まれ変わりましたが、地域を走る鉄道としていつの時代も愛されてきた「マイレール」長井線を、これからも大切にしていきたいと思います。



第400号（昭和58年7月22日発行）おしらせ版

●ゲートボールで若さと健康を保つお年寄り【表紙】

町内各地でゲートボールを楽しむお年寄りの様子が紹介されています。

●町の人口（7月1日現在）は18,987人

この時期は、人口約19,000人前後を推移していたころです。

■おしらせ版開始は、昭和50年9月25日発行分（第212号）から。

発行理由としては「行政分野の増大による記事量の増加、有線放送の廃止、文書経費ならびに町内長等の配布回数増加に対処するため」ということでした。

■「戸籍の窓」は、昭和49年度から始まりました（4月15日発行・第194号）。

当初は「窓」というコーナー名で、当面の町の行事などをお知らせする「町政カレンダー」なども掲載されていました。

■「町報」から「広報」へ
現在の「広報しらたか」という名称になったのは平成2年度から。同時に、B5判からA4判へと紙面も大きくなりました。

■基本文字の大きさの変遷

1号

広報しらたか1000号白鷹

200号

広報しらたか1000号白鷹

500号

広報しらたか1000号白鷹

700号

広報しらたか1000号白鷹

1000号

広報しらたか1000号白鷹

ここでは「戸籍の窓」に登場した、当時の新婚さん、赤ちゃんにインタビューし、現在の様子などをお伝えします。

第500号（昭和62年11月12日発行）

祝・成人

●細野トンネル工事が本格化

昭和50年から全面改修が進められてきた国道348号。その要所であり、改修工事最大の難所といわれるトンネル工事が、10月21日の起工式から始まったことをお伝えしています。工事の予算や期間、348号全体の工事の進捗状況などを掲載。また、国道348号（滝野地区）整備促進協会会長の小関徳松さんと十王地区の奥山英俊さんがこの工事への思いを寄せています。当時大沼を経由して山形市へ毎日通勤した奥山さんは「若い人たちが帰ってくる道が完成する」と喜びを表しています。



◆奥山 和司さん（山形市在住）
典子さん
（600号「結婚おめでとう」に登場）

現在は山形市にお住まいのご夫妻。お子さんは高校1年生から3歳まで4男3女の7人。まさに大家族で、毎日にぎやか。子育てに追われ、典子さんは食事と洗濯に奮闘しているとのこと。和司さんは、霞城学園高校で教鞭を執る傍ら、実家のある下山地区では地元の人びとと一緒に「ふる里体験塾」を行い、里山や農地を活用した体験プログラムを提供するなど、地域づくりにも活躍しています。

☆和司さんからのメッセージ

「二人が生まれ育った場所であり、自然や郷土文化に愛着があります。小さい頃お世話になった人たちが高齢となり、貴重な知恵や技能を後世に受け継いでいかなければならないと思います。」

◆関 和人さん（山口）
（500号「こんにちは赤ちゃん」に登場）



昭和62年生まれの人さんは、今年成人式を迎えました。兄と妹の3人兄弟。荒砥高校を卒業し、町内に就職しています。成人式・成人祭では、事務局次長を務め、夜遅くまでの企画会議や当日の運営など、仲間と一緒にがんばったということです。「大変だったけど、充実していた」と振り返っていました。

☆和人さんからのメッセージ

「僕が生まれた町、住みなれた町。これからもここに住みたいと思っています。若い人からお年寄りまで、元気に過ごせることが一番。もっと魅力的な場所になってほしいです。」



第600号（平成4年1月11日発行）

●飛躍の年。

新春号となった600号。この年のべにばな国体に合わせ、全面開通を迎える国道348号。その開通により、距離が近くなる白鷹町と山形市の首長新春対談を掲載しました。

道路という大動脈を軸に、山形市やその周辺市町との将来にわたる広域ネットワークの役割、産業振興、人的交流など、多様な分野の意見交換がなされました。この時期は、大学や研究機関、高速道路など、現在は当然のように活用されている社会基盤が多く整備されました。白鷹町においても、美しい環境、清流の最上川を守ろうという動き、農業や食文化を大事にしようという構想もつくられ、現在の地域づくりに大きな影響を与えていることがわかります。

時代は変わりましたが、当時を振り返り、未来に向けて検証することも大切なことではないでしょうか。



第700号（平成8年3月12日発行）

●町営バス「荒砥・西高玉線」を運行します

山形交通の路線バス「長井（鮎貝）荒砥線」の廃止にともなって、代替交通機関についての検討が行われ、導入が決まった町営バス。この年の4月からの運行開始を前に、路線や運行時刻、バスのデザインなどをお知らせしました。また同時に愛称も募集され、のちに「さくらバス」と命名されました。その後、2代目に引き継がれ、計12年間余り地域の皆さんを乗せ運行しました。今年7月いっばいでさくらバスは休業となりましたが、今も色鮮やかにわたしたちの心の中に残っています。代替導入されたデマンドタクシーは好評運行中です。皆さんご利用ください。

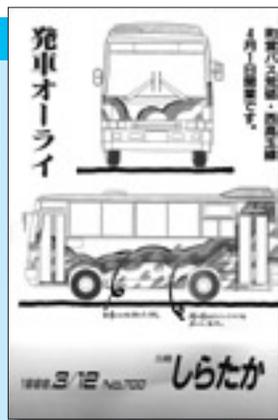
◆佐藤佳楠子さん（高玉）
（700号「こんにちは赤ちゃん」に登場）

15年ぶりに町豪雪対策本部が設置された平成8年2月、佳楠子さんは産声を上げました。お母さんによると、小さいころは内気な反面、走り回ったり、高い所に登ったりやんちゃな面もあったということ。保育園から始めたパレエによって、外の環境になじみ、なんでもがんばる子になったようです。今はもう中学1年生。吹奏楽部でフルートを担当し、毎日練習に励んでいます。将来の夢はお母さんと同じ美容師になることです。

小学3年生のとき。今もよく親子3人で出かけます。

☆佳楠子さんからのメッセージ

「小学生のときは学校で環境美化に取り組みました。みんなが住みよくきれいな町だと思えるように、町の通りや公園に木や花を増やしてほしいです。」



第800号（平成12年5月15日発行）

●21世紀シンボル事業

「残しておきたい美しい白鷹21景」募集

新たな世紀に向けて、美しい風景や景観を次代に伝えようと、公募を行いました。町民の皆さんや県内外のかたがたから、最上川や朝日連峰を臨む景観、田園風景や雪景色など、四季を通した作品が数多く寄せられました。

平成13年10月、結果として、ビューポイント12カ所、家並み・街並み7カ所が選ばれました。21景とはしながらも、その数に合わせることなく選定。これからのさまざま地域づくり活動から、すばらしい景観が数多く創造されることに期待し、将来に夢を託すこととしました。

あれから7年、皆さんのまわりには生まれましたか、美しい白鷹。



◆岡田 猛生さん（浅立）
裕美さん

（800号「結婚おめでとう」に登場）

現在、猛生さんは山形市、裕美さんは長井市にお勤めです。

お子さんは、小学2年生の女の子、保育園年中組の男の子。2人とも元気いっぱい、毎日明るく、にぎやかな家庭だということです。

☆猛生さんからのメッセージ

「田舎はどこも若い人が減り、子どももいない状態では定住につながらない。住んで良い所と感ずること。それにはまず、わたしたち自身が、今ある景観や人のつながり、食べ物などを守りながら、住みよい町を目指していくことが大事ですね。」



▶仲良し3兄弟。右端が滯ちゃんです。



◆竹田 ^{みお}滯ちゃん（中山）

（900号「こんにちは赤ちゃん」登場）

おじいちゃん、おばあちゃんの思いも込められた名前。みんなに愛されて生まれた滯ちゃんです。「赤ちゃんのころから元気で、ハイハイも立つのも早かった」とお母さん。今はよつば保育園のきく組さんと、友だちとのままごとが大好き。もう字も覚え、絵本を一人で読んだりしているそうです。家ではお兄ちゃんと妹と毎日元気に遊んでいます。負けず嫌いの笑顔のすてきな女の子です。

☆滯ちゃんからのメッセージ

「いつもトマトやきゅうりをもぐお手伝いをしています。歌を歌うのが大好きです。大人になったらプリキュアになりたい。」

第900号（平成16年7月12日発行）

●協働のまちづくり推進座談会

この年の4月に制定された「白鷹町協働のまちづくり条例」の趣旨などを町民の皆さんにお知らせするため、町内各地区で推進座談会を開催しました。今ではよく耳にする「協働」という言葉も、まだまだ浸透していませんでした。

その後、「地域を元気にしたい」「住みよい地域をつくりたい」という動きが、たくさん地区や団体を主体に始まりました。町が自主的なまちづくり活動に助成する「協働のまちづくり推進事業」を活用し、歴史文化の保存や交流拡大、地域づくり計画の策定など、積極的に行われています。

より親しまれる広報紙へ

こうして1000号を振り返れば、断片的ですが、その時々町の出来事、社会の動き、そして町民の皆さんの姿が見えてきます。これまで広報紙は、1号1号、町の歴史を紡いできた数々の情熱、感動、ふれあいをお伝えしてきました。

今回登場していただいた5組の皆さんも「町に生まれ学校に入り：「結婚し子どもが生まれ：」など、それぞれの人生をお持ちでした。一人ひとりの歴史が、町の歴史となっているのです。

広報紙の役割は、町民の皆さんと町をつなぐパイプとなつて、情報を共有できるようにすることです。そのためには、広報紙は皆さんにとつて、魅力があり、読んでいただけるとのことでなくてはなりません。より親しみを持っていただける広報紙を目指していきますので、町民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

これからも広報紙は町民の皆さんと共に歩んでいきます。

■問い合わせ 総務政策課 報企画係（☎85-6121）

スリーピース オブ コミュニケーション

横澤雅裕とSolaのツインボーカルユニット。ポップス、ボサノヴァ、アシッドジャズ、洗練されたヴォーカルで、優しく希望に満ちた歌を届ける。楽曲と全く違うイメージのMCも好評。現在、月レギュラーでネットラジオにも出演。東京のライブハウスを中心に活動中。



9/21(日)
9/22(月)

Dance Space・ Yumi Dance Company

NYのダンススタジオ、ラバンセンター・ロンドンなどに長期間の留学。数多くのイベントにダンサー・振付家として参加。1998年ダンススペース/ユミダンスカンパニーを設立。東北芸術工科大学 身体表現 非常勤講師、山形短期大学附属幼稚園 非常勤講師



9/23
(祝)

同時開催 深山の里は体験がいっぱい!! しらたか工芸体験まつり

※22日(月)の体験メニューはお休みの所もありますのでご了承下さい。

参加型イベント

◎魚のつかみどり [9/21.23 11:30~] 参加料500円
必ずつかまえます。つかまえた魚は焼いて食べられます。

◎餅つき大会 [9/21.23 13:00~] 参加料200円
子ども用の杵と臼を用意しています。チビッコ参加大歓迎。

◎ぶどうもぎ取り体験と栗拾い
[9/21.23 11:00~] 参加料1,000円



工芸体験コーナー (各300円~1,000円)

- ◎和紙漉き体験
- ◎ハンコづくり
- ◎キャンドル作り
- ◎陶芸体験
- ◎和紙細工
- ◎バードカービング
- ◎紅花染め体験
- ◎和紙アクセサリー

里山体験コーナー (各200円~1,000円)

- ◎バター作り体験
- ◎蔓細工
- ◎竹とんぼ飛ばし大会
9/21.23 14:30~ 参加料200円
- ◎竹細工
- ◎木工体験
- ◎動物ふれあいコーナー
- ◎藁細工
- ◎ネイチャープリント

白鷹町 食の文化街道

同時開催 うんまえもの茶屋

【時間】午前10時~午後5時 【主催】白鷹町食の文化街道推進会議

グリーンツーリズムの農家レストランや農産物の直売所を運営している農家グループがうんまえもの茶屋を開催します。手打ちそば、(夜中の)かいもち、新鮮な農産物、漬物など、安全・安心、美味しい秋の恵みを味わいに来てください。



どおりむ農園会場 畔藤・国道287号沿い

- ◎白鷹町蕎麦の里づくり振興会/手打ち蕎麦
- ◎まあ、どんな会/芋煮
- ◎十二の桜会/名物夜中のかいもち
- ◎ぬくもりの館/手作り漬物
- ◎笠松ロマン館/桑まんじゅう
- ◎どおりむ館/野菜、漬物など

愛菜館会場 荒砥・Aコープしらたか隣

- ◎愛菜館/野菜、漬物など

販売期間 9/1~10/31

あゆ御膳 2,000円(税込)

白鷹の秋の味覚をまるごと詰めた名物「あゆ御膳」。今年の「あゆ御膳」は、鮎の新しい食べ方「中華風春巻き」を提案した一品を加えております。

【予約・お問い合わせ】

2日前までに白鷹町内の下記取扱店までご予約ください。白鷹町内は配達いたします。

あゆ茶屋 ☎0238 (85) 5577
志ん月 ☎0238 (85) 2101
パレス松風 ☎0238 (85) 1001
ひさご ☎0238 (85) 0235

鮎まつり特別企画(あゆ御膳限定販売)
「あゆ御膳」を、21日・22日・23日の鮎まつり会場にて予約なしでお買い求めいただけます!!
数に限りがございますのでお早めどうぞ!



白鷹町の詳細情報はホームページでどうぞ! <http://www1.shirataka.or.jp/kanko/>

【お問い合わせ】白鷹町観光協会 TEL.0238-86-0086

秋は
落ちアユ漁
しらか

白鷹魚占まつり

第32回

今年は例年より早く、
落ち鮎が掛かり
はじめています。

会場が混雑しますので、フラワー長井線のご利用、
又はお車の乗り合わせにご協力をお願いいたします。

白鷹の観光ヤナ場は“落ち鮎漁シーズン到来”！一雨ごとに鮎がヤナに掛かり、時には数百匹が一度に掛かる事も！白波をたて簾に鮎が掛かる躍動感。ヤナ場で鮎を手づかみ出来る感動。どうやら今年も豊漁が見込めそうですよ。

9/21(日) 22(月) 23(祝) 祝
秋分の日

【会場】道の駅白鷹ヤナ公園
(国道287号最上川沿い/午前10時～午後5時まで)

司会/井上尚子



山形放送ラジオ「パワー全開!GO!GO!KIDS!」のパーソナリティ。
県内の子供達の生き生きとした様子を、毎週ご紹介しています。

9/21(日)

| | |
|--------|---------------------------|
| 10:45~ | 紅花まつり写真コンテスト表彰式 |
| 11:00~ | 徳内囃子/鷹翔会 |
| 11:30~ | バルーンアート オラクルバルーン荒川勝宏 |
| 12:00~ | スリーピースオブコミュニケーション ライブ |
| 13:00~ | よさこいソーラン響 |
| 13:30~ | バルーンアート オラクルバルーン荒川勝宏 |
| 14:00~ | スリーピースオブコミュニケーション ライブ |
| 15:00~ | チビッコさかなのつかみどり(小学生以下・自由参加) |

9/22(月)

| | |
|--------|-----------------------|
| 11:00~ | バルーンアート 作り方教室 |
| 11:30~ | スリーピースオブコミュニケーション ライブ |
| 12:30~ | バルーンアート 作り方教室 |
| 13:30~ | スリーピースオブコミュニケーション ライブ |
| 14:30~ | ジャンケン大会 |

9/23(祝)

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 10:30~ | 紙芝居「村人を救った毛ダニ医者」 |
| 11:00~ | バルーンアート オラクルバルーン |
| 11:30~ | 自転車トリアルデモ 坪井大地選手(12才 06世界選手権ランキング4位) |
| 12:00~ | ヒップホップダンス |
| 12:30~ | 紙芝居「村人を救った毛ダニ医者」 |
| 13:00~ | 自転車トリアルデモ 坪井大地選手 |
| 13:30~ | バルーンアート オラクルバルーン |
| 14:00~ | ヒップホップダンス |
| 15:00~ | チビッコさかなのつかみどり(小学生以下・自由参加) |

※催し物は変更になる場合があります。

チビッコさかなのつかみどり



ずぶぬれになりながら必死で魚を追いかけるチビッコたちの姿。今年も元気一杯チャレンジ!
※小学生以下に限ります。
※魚の入れ物と着替えをご用意下さい。

フットパスガイドツアー

荒砥駅からヤナ公園まで、最上川の川岸を歩くための小道「フットパス」を歩いてみませんか。約4kmのルート上には、つぶて石、黒滝開削跡、ヤナ場跡、舟番所跡など最上川舟運の歴史がいっぱい。「しらか旅先案内人」がご案内いたします。



23日(祝)はコチラ!!
駅長オススメの参加者募集
小さな旅
「鮎まつりで最上川に触れ、紅葉鮎を食べよう」

- 開催日 21日、22日
- 行程
(1)鮎まつり会場10:00 → 荒砥駅着12:00
(2)荒砥駅集合10:00 → 鮎まつり着12:00
(3)鮎まつり会場13:00 → 荒砥駅着15:00
- 料金無料、事前予約ください。
TEL.0238-86-0086
- 9/23(祝) 8:40赤湯駅集合
- フラワー長井線に乗って荒砥の町を散策
- 最上川沿いのフットパスを歩いて白鷹鮎まつりの会場へ。
- 申込み 赤湯駅 TEL0238-43-2009

自転車トリアルデモ

現在12才、坪井大地選手。06年世界選手権ランキング4位。自転車用小中学生とは思えないほどのあっと驚く大技をご覧ください。



よさこいソーラン響

2007年7月結成。白鷹・長井・飯豊の14名のメンバーで活動中。「夢は、本場 北海道のよさこいソーラン祭りに出場することです!」



徳内囃子 鷹翔会

2003年結成。白鷹太鼓 鷹翔会のお囃子に合わせ踊り手が舞う「徳内ばやし」リズムカルで勇壮な囃しと踊りをご覧ください。

8月6日、役場議場において、平成20年度白鷹町子ども議会が開催されました。町内の各小中学校、荒砥高校からの児童生徒の代表14人が「議員」として出席しました。

この議会は、次代を担う子どもたちが町への関心を高め、そしてまちづくりに積極的に参画していく機会にしようと、町議会の協力のもと、町青少年育成町民会議及び町教育委員会が主催しました。

今回の議会では、環境問題について議論されました。地球規模の問題であるけれども、だれもが身近なところから改善に向けて取り組まなければならぬテーマであるとして取り上げられました。事前に各学校でも話し合いが持たれ、自分たちでできる環境対策などが検討されました。議論の結果、今議会の「決議」として可決されました。

また、町当局に意見や質問を行う一般質問も行われ、鋭い質問が数多く出されました。町においても、子どもたちの意見をまちづくりに反映していくという目的もある子ども議会。また新たな扉が開かれました。

白鷹町子ども議会が開催されました

平成20年8月6日／白鷹町役場議場



議長
橋本大典くん
(荒砥高3年)



橋本光記町長

環境問題に子どもたち自ら取り組もう！

環境改善のため子どもたちみんなで取り組むことを求める決議（要約）

現在、地球温暖化防止のために、私たちが日頃、取り組める行動として、三つの提案をします。

第一の提案は、省エネのためのマイマイ運動です。これは、スーパーなどで「MY袋」を持参して買い物をすることや「MY箸」の使用、「MY水筒」を持って、ペットボトルの利用量を減らそうとする運動です。

第二の提案は、ごみの分別を正しくできるよう学習に努めながら、できるだけ資源として有効活用できるようにリサイクル運動に協力します。

第三の提案は、節電に心がける省エネ5箇条です。

第1条 使わない部屋の明かりや見ていないテレビは消そう。

第2条 水道やシャワーの出しっ放しをしないようにしましょう。

第3条 冷房の設定温度は1度高く、暖房の設定温度は1度低く、あとは衣類で調整しよう。

第4条 テレビやゲーム機の時間を短くしよう。

第5条 冷蔵庫の無駄な開閉をひかえよう。

以上3つの提案を白鷹町の子どもみんなで取り組むことを求め、さらに環境問題について学習を行いながら努力することを誓いここに決議します。

決議可決



菅原歩美さん
(荒砥高3年)



澤浦将光くん
(東中3年)



齋藤美咲さん
(荒砥高3年)

◆ 提出者・質疑への回答

菅原歩美さん

【質疑】

◆ 船山千帆さん

地球温暖化を悪化させているのは日本のような豊かな国と聞いていますが、ほかの国も豊かさを求めたくさんエネルギーを使うことをどう思いますか。

○回答：化石エネルギーに頼らないで、できるだけ太陽光や風力などの二酸化炭素を排出しない新エネルギーを開発する必要があります。

◆ 塩野翔太くん

「マイ水筒運動」を進めるには、具体的にはどのような取り組みが必要か教えてください。

○回答：この運動は、基本的にペットボトル入り飲料を買わないようにすること。抽出茶や粉末ドリンクを自分の水筒に入れて清涼飲料水とすることです。

◆ 海老名涼くん

運動を進めるために、町ぐるみで実行できるようにしていきたいと思いますが。

○回答：町ぐるみでの実行は必

【賛成討論】

佐藤瑤くん、伊藤朱加さん、齋藤美咲さん

賛成への賛成の立場で意見を述べる賛成討論では、家で何気なくつけている電気やクーラー消すなど、すぐにでもできることを心がけたいという意見や、勉強会を計画し、学べる場をつくることなどの提案がなされました。白鷹町を良くしていくために、一人ひとりが真剣に考え、取り組んでいけるように自分たちが今できることを行っていきたいという決意も出され、全員賛成により決議されました。



佐藤 瑤くん
(西中3年)



佐々木大樹くん
(西中3年)



齋藤航平くん
(鮎貝小6年)



塩野翔太くん
(荒砥小6年)



伊藤朱加さん
(荒砥高3年)

少年少女たちが考える、町のいま、未来、夢。

一般質問(概要)

1 佐々木大樹くん
町の教育目標を掲げた理由はなんですか。教育目標は変わることもあるのですか。

○町長／白鷹町は、人間性豊かな町民の育成を目指し、恵まれた自然の中で歴史と伝統を重んじ、自らの向上と生きがいのある生涯学習社会を実現するために、目標を設定しています。

○教育長／教育目標は、変わることがあります。みんなで知恵を出し合って進めていきます。

2 齋藤航平くん
ヤナ公園はどんな目的でつくったのでしょうか。年間の観光客や白鷹町へ与えている影響、そのほかの観光の目玉を併せて教えてください。

○町長／中心となる観光施設がなかった時代に、たくさんの人びとに町に来ていただきたいと考え、町のシンボル最上川に親しんでもらうため鮎まつりを開催。町民みんなで盛り上げ、その後昭和58年にヤナを建設しました。現在ヤナ公園には、一年間に16万人の観光客のかたにおいでいただいています。町民の皆さんに、誇りと元気をもたら

しています。

また、町では「春サクラ 夏はベニバナ 秋はアユ 冬は隠れ蕎麦屋のしらたかへ」という言葉で観光ピーアールを行っています。町外からのお客さまに喜んでいただくには、住んでいられるわたしたちが「いい町だ」と思えるまちづくりをすることが大切です。

※齋藤くんからは第2次質問として、観光客を喜ばせる企画として、ヤナ開きのときに鮎をプレゼントすることや、鮎に関するグッズ、食品、鮎をモチーフにしたキャラクターをつくることなどが提案されました。

3 橋本陽貴くん
大型の屋内型スポーツ施設をつくることについて、検討されたことはありませんか。要望が多い場合、予算面では可能ですが、理想のスポーツ施設の必要性について、どう思いますか。

○町長／町の第4次総合計画において、町民体育館の整備について検討する旨を記載しています。ただ、多額の予算が必要なることも事実ですので、現在の予算規模では総合体育館の建設は

難しいのではないかと考えています。しかし、質問されたように、スポーツ環境の整備は重要であると考えていますので、現在整備している施設を有効に活用しながら、町民の健康づくり、体力づくりなどに努めてまいります。

4 五十嵐兼一くん
①高齢者の各福祉施設での受け入れ態勢は整っていますか。

○町長／施設としてはおおむね整っている状態です。町としては、介護予防に力を入れるなど健康で長生きを目指した事業を行い、長寿社会を楽しく過ごすための支援に努めます。

②老人保健が、前年度と比較して約15億円減らされているのはなぜですか。

○町長／平成20年度に制度の大改革があり、「後期高齢者医療制度」という新しい医療制度に生まれ変わりました。そのため、前年度と比較して14億6500万円ほどの減少となりました。しかし、老人医療が手薄になっただけではなく、従来どおりの医療費の窓口1割負担や保険料の軽減措置などが行われていま

す。

③民生費で、福祉などに関するさまざまな事業の費用は間に合っていますか。

○町長／社会福祉事業の財源も税金ですから、国県町の負担割合やサービスに応じた利用者負担なども求めながら持続可能な制度をつくる必要があります。予算については、足りなくなる場合は、補正予算を組み対応しています。

5 茂木信宏くん
子どもが減少したことで、学校の様子が大きく変わろうとしている時期ではないかと思えます。白鷹町の小中学校でも統廃合の計画はありますか。

○町長／町では、急激な少子化の状況をふまえ、小中学校の適正配置について検討を重ね、町における学校数を「小学校2校、中学校1校」としました。今後、検討委員会を設置し、町民の皆さんの意見などをお聞きしながら、平成28年度をめどに統合が図られるよう、事業を進めてまいります。



五十嵐兼一くん
(荒砥高2年)



船山千帆さん
(蚕桑小6年)



海老名涼くん
(鷹山小6年)



茂木信宏くん
(東中3年)



橋本陽貴くん
(東根小6年)

住みよいまち “しらたか” をめざして
白鷹町長選挙
白鷹町議会議員補欠選挙が
行われます

告示日 10/14(火) 投票日 10/19(日)

今回の選挙は、任期満了による町長選挙と1人の欠員が生じたことによる町議会議員補欠選挙が行われます。いずれの選挙も今後の白鷹町を方向づける重要な選挙です。忘れずに投票しましょう。

選挙について

■告示日 10月14日(火)

■投票日 10月19日(日)

○投票時間：午前7時から午後8時まで（黒鴨・針生投票区は、午前7時から午後7時まで）

◆投票できるかたは

平成20年7月13日以前から引き続き白鷹町の住民基本台帳に登録されているかたで、昭和63年10月20日以前に生まれたかた（満20歳以上）が投票できます。

◆投票にあたっての注意事項

◇投票用紙の書き方

町長選挙と町議会議員補欠選挙を、それぞれ投票していただきます。

まず、町長選挙の投票を行います。投票用紙（白色の用紙）に候補者1人の氏名を書き、投票箱に投票してください。

次に、町議会議員補欠選挙

の投票を行います。投票用紙（黄色の用紙）に候補者1人の氏名を書き、投票箱に投票してください。

◇入場券について

入場券を忘れずに持参してください（入場券は10月14日に発送する予定です）。

もし入場券を紛失した場合でも投票することはできませんので、その場合は投票所の受付に申し出てください。

なお、入場券は10月1日現在の居住地で発行しますので、10月2日以降に転居されたかたは、前居住地の投票所で投票してください。

◇代理投票について

身体の不都合などで字が書けない場合でも、代理投票ができますので棄権しないで投票してください。代理投票を希望されるかたは、投票管理者に申し出てください。補助者2人が定められ、その1人が代理投票を希望されるかたの指示に従って投票用紙に記入し、もう1人が、指示通りに記入されているか確認します。

◆期日前投票ができます

◇期日前投票とは

選挙は投票日に投票所において投票することを原則としていますが、期日前投票は投票日であっても、投票日と同じように投票を行うことができる（投票用紙を直接投票箱に入れることができる）制度のことです。

従来のおうち、白鷹町の選挙管理委員会で行う不在者投票（中央公民館1階文化実習室で行う投票）が期日前投票となります。

◇期日前投票ができるかた

投票日当日、次のような理由で不在になるかたは期日前投票ができます。

- ①職務や業務に従事されるかたや、冠婚葬祭など、やむを得ない用務に従事しなければならぬかた
- ②疾病、出産などで、投票日当日に投票できないことが予想されるかた
- ③自分の属する投票区の区域外において旅行中または滞在中のかた

◆期日前投票の場所と日時

○場所 白鷹町中央公民館

1階文化実習室

○日時 告示日の翌日（10月15日）から、投票日の前日（10月18日）まで（時間は午前8時30分から午後8時まで）

※告示日の翌日などで入場券が届いていない場合でも期日前投票をすることはできませんので、その場合は期日前投票所の受付に申し出てください。

◆不在者投票について

◆他の市町村に

滞在されているかたは

業務に従事するため他の市町村に滞在されているかたは、滞在地の選挙管理委員会において不在者投票ができます。

この場合、郵便で投票用紙を請求してから投票していただくことになるため、郵便の往復に日数がかかりますので、お早めに選挙管理委員会で請求の手続きを行ってください。また、白鷹町立病院や白光園などの施設に入院または入所中のかたは、その場所（施設内）で不在者投票ができますので、それぞれの施設の職

員に申し出てください。

このほか、投票日には選挙権を有するが、投票日前において投票を行おうとする日には、いまだ選挙権を有しないかた（例えば、投票日には20歳を迎えるが、投票日前においてははいまだ19歳であり選挙権を有しないかたなど）については、期日前投票をすることができないので、例外的に本町の選挙管理委員会において不在者投票をすることができます。

◆郵便等による

不在者投票制度について

◆郵便等による不在者投票制度

次のようなかたは、投票所へ行かなくても自宅で投票することができます（いずれも自書することが可能なかた）。

- (1) 身体障害者手帳をお持ちのかたで、①両下肢、体幹、移動機能の障害の程度が1級または2級のかた、②内臓機能の障害の程度が1級または3級のかた、③免疫の障害の程度が1級から3級までのかた
- (2) 戦傷病者手帳をお持ちのかたで、①両下肢または体幹の障害の程度が特別項症から第

2項症までのかた、②内臓機能の障害の程度が特別項症から第3項症までのかた

(3) 介護保険法上の要介護者で要介護5のかた

なお、自宅で「郵便等による不在者投票」をするためには選挙管理委員会が発行する「郵便等投票証明書」が必要になりますので、希望されるかたはお早めに申請の手続きを行ってください。

◆郵便等による不在者投票の代理記載制度

代理記載制度

郵便等による不在者投票の対象となつているかたのうち、次のようなかたは、代理記載の方法により自宅で投票できるようにになりました。

(1) 身体障害者手帳をお持ちのかたで、上肢または視覚の障害の程度が1級のかた

(2) 戦傷病者手帳をお持ちのかたで、上肢または視覚の障害の程度が特別項症から第2項症までのかた

代理記載の方法による「郵便等による不在者投票」を希望されるかたは、申請の手続きが必要となりますので、お早めに申請の手続きを行ってください。詳しくは、選挙管

理委員会事務局へお問い合わせください。

白鷹町議会議員補欠選挙
「立候補予定者説明会」を
開催します

白鷹町議会議員補欠選挙の立候補予定者への説明会を次のとおり開催いたします。

立候補の届出に必要な書類をお渡しし、届出書への記載方法、出納責任者の事務などについて説明します。出席されるかたは、本人または代理人のかたでも構いません。

●日時 9月24日（水）

午後1時30分

●場所 白鷹町中央公民館
大会議室

■問い合わせ 白鷹町選挙管理委員会事務局（☎85-16124）

明るい町をつくるため、
明るい選挙にご協力をお願いします。



9月1日から、 本格運行がはじまりました

今回は、だれでも、気軽にご利用いただくために、詳しく利用するまでの流れをお知らせします。



みなさんの
デマンドタクシー
走り出しました

【デマンドタクシー利用までの流れ】

(1) まずは「登録」する

- 「利用登録申込書」に氏名、住所、生年月日など必要事項を記入し、役場の総務政策課へ提出してください。
- 電話での登録もできます（☎85-6123）。

☆一度登録すれば、その後の利用は以下の手順だけで結構です。

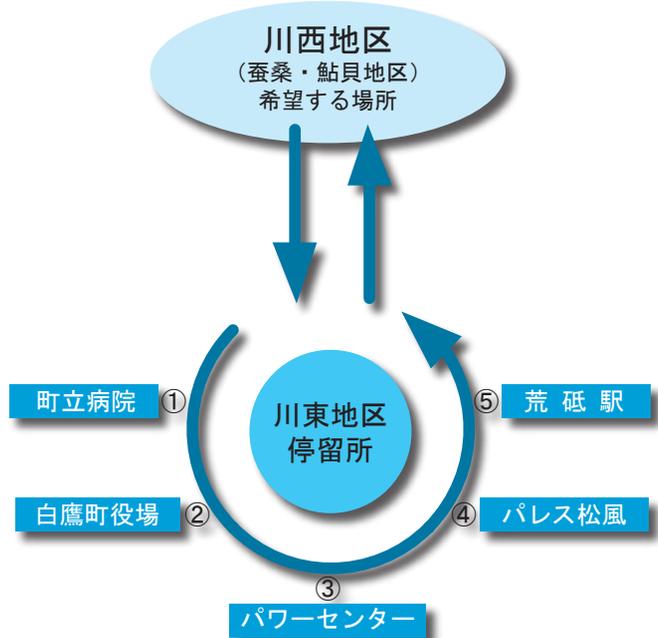
(2) 利用する前の日まで「予約」する

- 予約センター（☎85-0365）へ電話で予約。
- 予約の際、確認すること
「①氏名、②電話番号、③何時の便か、④どこからどこまで、⑤帰りの便は必要か」など
- 予約の変更やキャンセル（取り消し）も予約センターで受け付けます。
- 予約時間は平日朝8時から夕方4時までです。
*例えば、月曜日の予約は前の週の金曜夕方4時までとなります。

(3) 実際に「利用」する

- 予約した月日・時間に、予約した場所にデマンドタクシーが迎えに行きます。
- ※乗り合いでの運行のため、時間は多少前後する場合があります。余裕を持ってご利用ください。
- 乗車し、目的地に出発。
- 目的地に着いたら、500円を支払い降車します。
- 帰りも利用する場合は、予約した場所で同じようにご利用ください。

【運行コース：川西地区から川東地区の主な施設】



※川西地区内ならどこでも乗り降りできます。
※川東地区のかたも、①～⑤間の移動や、①～⑤から川西地区に行くことができます。

【時刻表】

| 午前 | 午後 |
|----------|---------|
| 午前 8 時便 | 午後 1 時便 |
| 午前 9 時便 | 午後 2 時便 |
| 午前 10 時便 | 午後 3 時便 |
| 午前 11 時便 | 計 7 便 |

■問い合わせ
総務政策課政策企画係（☎85-6123）



このたびの取り組みで、満点ゆーカードの利用機会を増やし、より身近にデマンドタクシーを利用していただき、さらに買い物も楽しんでいただこうという企画です。皆さまのご利用をお待ちしています。

このカードは、町内の小売店64店舗で組織する協同組合ゆーしーるのポイントカードです。小売店で買い物するごとにポイントが発行され、満点となると、500円分の買い物に使うことができます。デマンドタクシーでは、1回の利用料金分として使うことができます。

9月1日からの本格運行に合わせ、デマンドタクシーの利用料金（運賃）を支払う際に、満点になった「ゆーカード」が使えるようになります。

「満点ゆーカード」が
使えます

(仮称)白鷹町文化交流センターの愛称は

「あゆむ」に決まりました

(仮称)白鷹町文化交流センターの愛称を決定するにあたり、たくさんの方の応募・投票をいただき、ありがとうございます。皆さんからの投票の結果、「あゆむ」を愛称とすることに決定しました。今後、施設の宣伝活動に使用していくこととなります。



■施設の愛称と説明

「あゆむ」

- 白鷹といえば「あゆ」
- 文化交流の夢を乗せて「鮎夢」
- すいすいと交流拡大に向けて「歩む」

以上のような意味が込められています。なお、ひらがな、カタカナなどの表記、デザインについては今後検討のうえ、決定していくこととなります。

■「あゆむ」の応募者

山田陸博さん(米沢市)
石川重二さん(鮎貝)

※要綱では、採用作品が複数名だった場合、抽選で一人に決定することになっていましたが、お二人とも名付け親となつていただくことでご了承いただきました。よって、賞金はお二人で仲良く半分ということになりました。

名付け親のお二人からのコメントをいただきました

山田 陸博さんより

このたび愛称として採用されたことに感謝いたします。自然豊かな山形、鮎で有名な白鷹、最上川。どれも大切なもの、未来へ残すべき宝です。子どもたちが素直なやさしさを持った大人になれるように、大人自ら見本をつくっていききたい。そんな想いで考えました。文化交流センターを起点とし、山形県、東北、日本へ発信して行く場所になってほしいと思います。いろいろな人に白鷹を知っていただきたいと願うしだいです。

石川 重二さんより

文化交流センターの愛称が「あゆむ」に決定とのこと。このホールを活用し、町内外の多くのかたと交流拡大に向かって、鮎のように「すいすーい」とみんなが参加できるコンサートや講演会、寄席演芸など、いっぱいできるんだなと、うれしくなります。このホールを活かすために、いろんな事業を企画され、一步一步たしかかな足どりで歩いてほしいです。それに少しでもお手伝いをしたいと思っております。



みんなに
愛される施設へ
一步一步。

お問い合わせは
まちづくり推進課
(☎85-6110) まで。

図書カードの当選者につきましては、次のとおりです。

■愛称の応募者より

- 菅間 舞さん(十王)
- 石井富士夫さん(千葉県市川市)
- 緑川朝子さん(北海道登別市)
- 稲玉志津子さん(長野県千曲市)
- 小浦信秋さん(大阪府和泉市)
- 小出弥生さん(長野県飯田市)
- 田中鉄司さん(大阪府貝塚市)
- 井田寿一さん(滋賀県東近江市)
- 原田雄平さん(十王)
- 鈴木健太さん(長井市)

■愛称の投票者より

- 大滝敏広さん(浅立)
 - 黒沼成美さん(中山)
 - 梅津香穂さん(浅立)
 - 矢羽木明美さん(鮎貝)
 - 小形駿一さん(浅立)
 - 高橋 亮さん(浅立)
 - 嶋貫優姫さん(長井市町内通学)
 - 鈴木美和さん(朝日町町内勤務)
 - 寒河江大作さん(山口)
 - 佐藤利樹さん(荒砥)
- 以上10人

9月は、下水道普及月間です

川や海の汚れは、家庭から出る生活排水が大きな原因となっています。町では、水質保全を行い生活環境の向上を目指すため下水道整備計画に基づき、4つの事業で全町に下水道の普及を進めています。

◆4つの事業とは

- ① 公共下水道事業（市街部とその周辺に隣接する区域）
- ② 農業集落排水事業（浅立地区・西高玉地区）
- ③ 浄化槽整備事業（公共下水道・農業集落排水事業以外の区域で個人設置・個人管理）
- ④ 個別排水処理施設整備事業（上水道水源の水質を守るため、地区を限定し、浄化槽を町が設置・管理する事業）

◆下水道の役割とは

○水洗トイレが使えます
清潔で快適な水洗トイレにより子どもやお年寄りも安心して使用ができ、不快な悪臭も解消します。



8月24日の浅立光穂センターまつり。綿あめや金魚すくいが催され、子どもたちでにぎわいました。

○川や海の水がきれいになります
家庭から出る生活雑排水が処理され、多くの生物がよみがえります。
○清潔で快適な生活環境が確保されます
ハエや蚊の発生を防いで、快適な暮らしができます。

平成19年度末白鷹町生活排水処理の状況

| 地区名 | 人口 A | 生活排水処理 | | | | | 計 a+b+c=B | 生活排水 処理普及率 B/A(%) |
|-------------|--------|--------------------|------------|------------|----------------|------------|--------------|-------------------------|
| | | 公共下水道処理 区域内人口 a | うち 加入人口 | 合併浄化槽 b | 農業集落排 水事業 c | うち 加入人口 | | |
| 蚕桑 | 3,403 | 1,120 | 608 | 491 | 505 | 450 | 2,116 | 62.2 |
| 鮎貝 | 3,364 | 2,604 | 2,127 | 334 | | | 2,938 | 87.3 |
| 荒砥 | 3,852 | 3,228 | 2,872 | 186 | | | 3,414 | 88.6 |
| 十王 | 1,300 | 1,152 | 1,020 | 38 | | | 1,190 | 91.5 |
| 鷹山 | 1,419 | 162 | 133 | 295 | | | 457 | 32.2 |
| 東根 | 2,990 | 1,221 | 853 | 425 | 823 | 823 | 2,469 | 82.6 |
| 計 | 16,328 | 9,487 | 7,613 | 1,769 | 1,328 | 1,273 | 12,584 | 77.1 |
| 人口に占める割合(%) | | 58.1 | 46.6 | 10.4 | 8.1 | 7.8 | 77.1 | |

*生活排水処理普及率は、77.1%で、公共下水道の水洗化率は80.2%です。
*まだ加入していないかたは、一日も早く下水道に加入くださるようお願いいたします。

下水道を使うときの注意！

「下水道」はなんでも流せる万能トンネルではありません。長く故障させずに使うため、また、汚水をきれいにしてくれる小さな微生物のために、次のことに心がけてください。

- ① 生ゴミは流さない。
- ② 食器の油はふき取ってから洗う。
- ③ 水洗トイレでは、トイレトーパー（ティッシュペーパーは詰まる）を使用する。
- ④ 水洗トイレには、生理用品、タバコなどは流さない。
- ⑤ 宅地内の汚水マスは、年2回は清掃を行う（悪臭、詰まりを防ぎます）。

融資あっ旋及び利子補給制度の活用を

- (1) 水洗トイレなどの改造（新築は除く）に要する資金の融資をあっ旋します。
○限度額 120万円
○償還期限 60カ月以内（元金均等償還）
- (2) 供用開始から3年以内の融資は、町がその利子の9割を補給します。
- (3) 供用開始から3年を超えている場合は、融資あっ旋のみとなります。（浄化槽については設置時の改造資金）

よごすまい 鮎のふるさと 水洗化

■下水道・農業集落排水・浄化槽に関するお問い合わせ
建設水道課下水道係（☎85-6138）

「固定資産の異動」を行った場合は 役場にお知らせください

問い合わせ
町民税務課 町税係
☎85-6133



土地の異動や家屋の新築や増築、取り壊しなどについては常々調査を行っていますが、調査漏れをなくすため、次のような固定資産の異動がありましたら、お手数ですが電話などでお知らせください。
現地確認のうえ、手続きをさせていただきます。

土地

- ◆土地の現況（利用状況）が変わったとき
 - * 田畑や原野を造成して、宅地や駐車場、資材置き場にした場合

家屋

- ◆家屋（建物）に異動があったとき
 - * 建物を新增改築した場合
 - * 建物を取り壊した場合

☆次の（1）から（3）までの場合は、改修に伴う固定資産の減税が受けることができます。

（1）省エネ改修工事（平成20年度創設）

平成20年4月1日から平成22年3月31日までに、一定の省エネ改修工事（改修費用が30万円以上のものに限る）を行った場合、翌年度の固定資産が減額になります。

- ①対象家屋
平成20年1月1日以前から所在していた住宅（賃貸住宅は除く）
- ②対象となる省エネ改修工事
ア：窓の断熱改修工事
イ：床の断熱改修工事
ウ：天井の断熱改修工事
エ：壁の断熱改修工事
* 「ア」の工事は必須となります。「ア」または「ア」と併せて「イ」～「エ」の工事を行い、それぞれの部位が現行の省エネ基準に新たに適合すること。
- ③減額となる額
改修工事が完了した翌年度分の固定資産税の3分の1を減額（一棟当り120㎡相当分までが限度）
- ④減額を受けるための手続き
改修後3カ月以内に領収書、建築士・登録住宅性能評価機関による証明書などの関係書類を添付のうえ申告してください。なお、添付書類の詳細についてはお問い合わせください。

（2）バリアフリー改修

・詳細はお問い合わせください。

（3）耐震改修

・詳細はお問い合わせください。

ねんきん特別便、届いていますか？

年金記録の確認にご協力ください

ねんきん特別便が発送され始めて、もうすぐ1年です。もし皆さんのお手元に届いていなければ、左のようにお手続きください。

●青色の封筒のかた

今年3月までに、青色の封筒が届いたかたは、年金記録に漏れがある可能性の大きいかたです。もう一度ご自分の職歴をご確認のうえ、町戸籍年金係か社会保険事務所をお訪ねください。

●緑色の封筒のかた

6月から10月までの間に、すべての現役加入者のかたへ緑色の封筒をお届けします。ご自分の年金期間が間違っていない場合は、訂正なしで送付ください。もし間違っている場合は、青色封筒と同様にご確認のうえ、お問い合わせください。

●どちらにしても、回答書を返送してください

国民年金記録の正しい把握のため、回答書をもとに再度

確認作業がなされます。回答書は、間違いがなくても必ず返送してください。

○平成8年以前に旧姓で年金に加入していたかたはご注意ください。

結婚などで氏名を変更されているかたの記録が、「持ち主不明」の記録の中に多数存在することが見込まれます。皆さんの申し出により、記録に結びつけることができますので、ご協力ください。

○周りのかたにも呼びかけてください。

ご家族のかたなどに「ねんきん特別便」が届いたら、過去の職歴について一緒に記憶をたどってみるなど、多くのかたからご回答をいただけるよう、ご協力ください。

■質問・問い合わせ

●ねんきん特別便専用ダイヤル（☎0570-0581555）

●米沢社会保険事務所（☎0238-224220）

●町民税務課戸籍年金係（☎85-6129）

10/12

(日)

白鷹町誕生54周年記念 地区対抗駅伝競走大会



毎年盛大に開催している標記大会を、白鷹町誕生54周年を記念して開催します。選手へのご声援よろしくお祈いします。

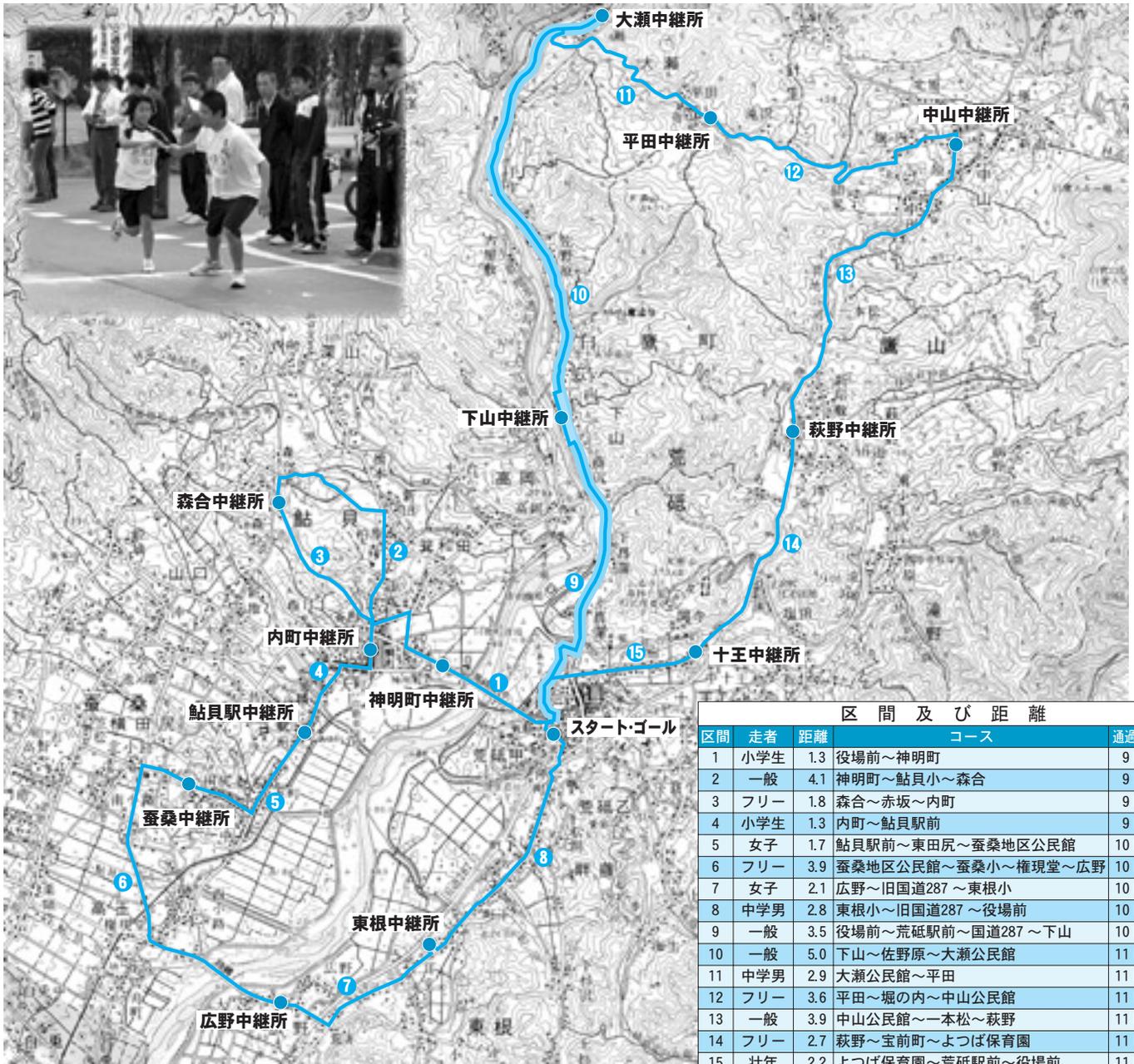
毎年荒砥～大瀬中継所(図中 **■** 部)にて交通渋滞が発生しています。一般車輛、付近住民の皆さんへの迷惑となります。大会期間中はチーム関係車輛、応援車輛の通行を厳しく規制します。交通渋滞の緩和にご協力ください。

10月12日(日) 雨天決行

開会式 午前8時30分、スタート 午前9時30分、閉会式 午後1時頃

*大会開催中の交通安全にご協力をお願いします。

■問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎85-6147)



| 区間及び距離 | | | | |
|--------|-----|------|--------------------|--------|
| 区間 | 走者 | 距離 | コース | 通過予想時刻 |
| 1 | 小学生 | 1.3 | 役場前～神明町 | 9時34分 |
| 2 | 一般 | 4.1 | 神明町～鮎貝小～森合 | 9時46分 |
| 3 | フリー | 1.8 | 森合～赤坂～内町 | 9時52分 |
| 4 | 小学生 | 1.3 | 内町～鮎貝駅前 | 9時56分 |
| 5 | 女子 | 1.7 | 鮎貝駅前～東田尻～蚕桑地区公民館 | 10時03分 |
| 6 | フリー | 3.9 | 蚕桑地区公民館～蚕桑小～権現堂～廣野 | 10時15分 |
| 7 | 女子 | 2.1 | 廣野～旧国道287～東根小 | 10時23分 |
| 8 | 中学男 | 2.8 | 東根小～旧国道287～役場前 | 10時34分 |
| 9 | 一般 | 3.5 | 役場前～荒砥駅前～国道287～下山 | 10時48分 |
| 10 | 一般 | 5.0 | 下山～佐野原～大瀬公民館 | 11時05分 |
| 11 | 中学男 | 2.9 | 大瀬公民館～平田 | 11時17分 |
| 12 | フリー | 3.6 | 平田～堀の内～中山公民館 | 11時31分 |
| 13 | 一般 | 3.9 | 中山公民館～一本松～萩野 | 11時43分 |
| 14 | フリー | 2.7 | 萩野～宝前町～よつば保育園 | 11時51分 |
| 15 | 壮年 | 2.2 | よつば保育園～荒砥駅前～役場前 | 11時58分 |
| 計 | | 42.8 | | |

第16回東北学生駅伝 対校選手権大会

9/23

(火:秋分の日)

- スタート 女子午前8時、男子午前8時10分
- 会場 白鷹町スポーツ公園及び周辺駅伝コース
- 競技方法

男子：駅伝方式(※)8区間 71^{キロ}
 (1区8.5^{キロ}、2区7^{キロ}、3区8.5^{キロ}、4区7^{キロ}、5区12^{キロ}、
 6区7^{キロ}、7区7^{キロ}、8区14^{キロ})

女子：5^{キロ}タイムレースによる集計方式(5^{キロ}コースを1周)

※本大会は、白鷹町スポーツ公園をスタート・中継所・ゴールとし、周辺の駅伝コース(6^{キロ}・7^{キロ}・8.5^{キロ})で周回駅伝方式で実施します。周回駅伝方式とは、中継所を1カ所に固定して、区間エントリー選手が指定されたコースを周回し、次の選手にタスキを引き継ぐ駅伝方式です。

長距離選手の育成と白鷹町の活性化を図り、白鷹町を全国にアピールするために、「東北学生駅伝対校選手権大会」を開催します。本大会は、11月2日(日)に行われる秩父宮賜杯第40回全日本大学駅伝対校選手権大会、10月26日(日)に行われる第26回全日本大学女子駅伝対校選手権大会の東北代表選考会を兼ねる重要な大会です。

地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

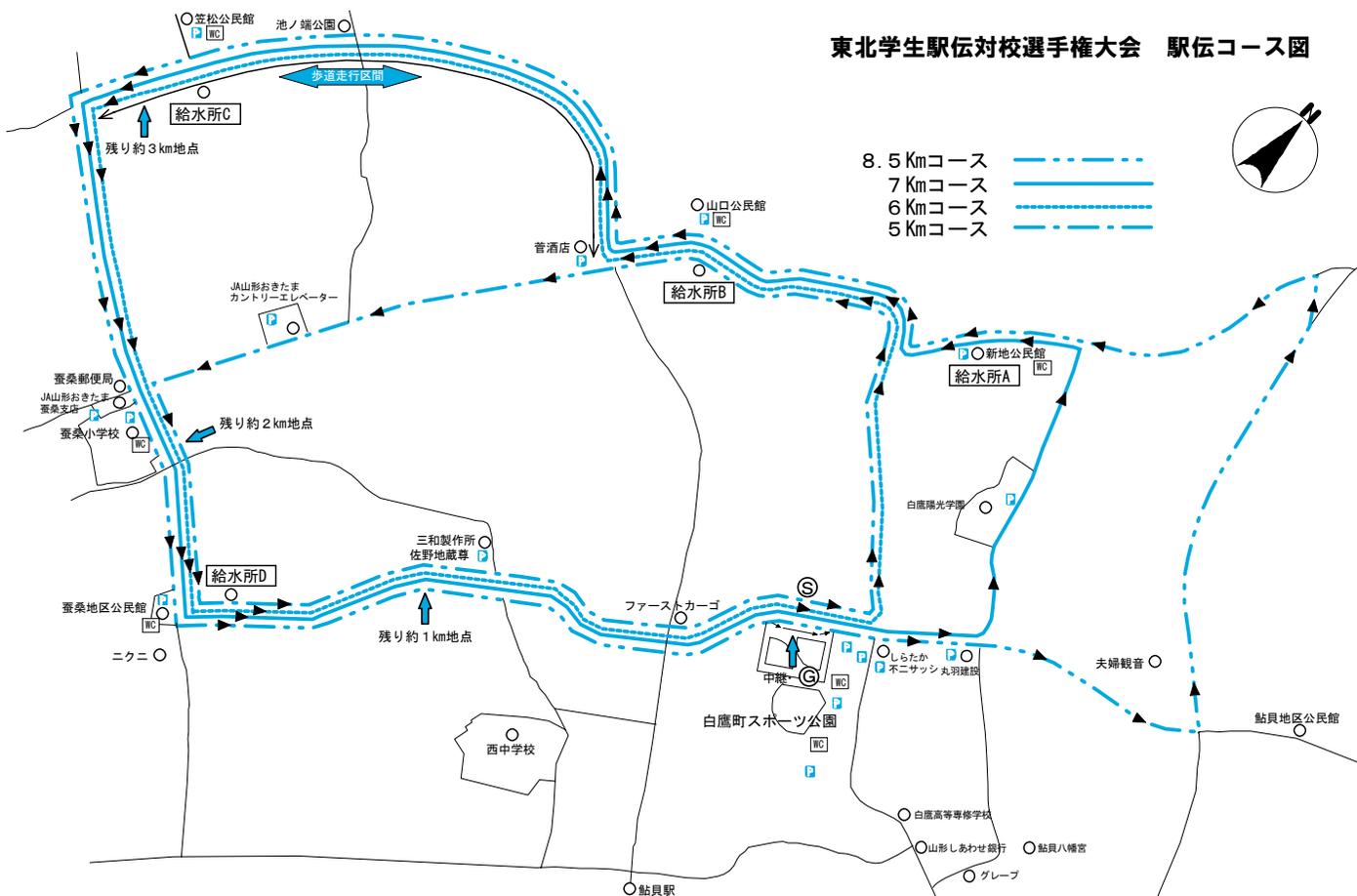


地域の皆さんへのお願い

- ・駅伝コースは下図のとおりです。主な交差点などに白線表示、看板設置します。
- ・駐車場、トイレ、水などはスポーツ公園内の施設を利用しますが、状況により地域の皆さんにご協力をお願いしなければならないこともあります。協力依頼があった場合には、ご支援とご協力をお願いします。
- ・駅伝コースで、特に選手が右折する交差点や見通しの悪い所では、お互いに十分気をつけて通行しましょう。

■問い合わせ 教育委員会 生涯学習・スポーツ推進係 (☎85-6147)

東北学生駅伝対校選手権大会 駅伝コース図



秋の味覚がぎっしり！ あゆ御膳発表会



8月27日、パレス松風で、あゆ御膳発表会が行われました。今回は多くのかたがたに試食いただこうと一般から募集。当選した20人ができたての味を堪能しました。今年のこだわり料理は「中華風春巻き」。鮎の新しい食べ方を提案しています。参加したかたは「限られたスペースにおいしいものがいっぱい。見た目も鮮やかですばらしい」と満足した様子。各店独自の工夫が施された秋の味覚、今年もどうぞご賞味ください。

第35回東北総合体育大会ソフトボール競技 各県代表が見せたスーパープレー



8月22日から25日まで、町ソフトボール場で、東北総体ソフトボール競技（少年男女）が行われました。競技には、東北6県代表の高校生チーム男女各6チームが参加し、東北ナンバーワンの座をかけ熱戦を繰り広げました。「ミニ国体」といわれる大会だけに、各チームとも攻撃、守備、掛け声、そしてスタンドからの応援と、見事なチームプレーを見せていました。少年男子は福島県、少年女子は岩手県が優勝しました。

悲惨な過去、忘れることなく未来に歩みます 白鷹町平和祈念事業



8月15日、役場前で平和祈念事業が行われました。終戦の日にあたり、未来の平和を願い誓いを新たにしようというもの。今年成人式を迎えた高木直人さん（十王）と遠藤梓さん（鮎貝）が平和都市宣言を読み上げ、献花と折り鶴献呈が行われました。日本が経験した悲惨な戦争。過ぎ去ったとしても、決して忘れてはならないことです。地球上で今も続く抗争や内戦に目を向け、平和な社会に感謝し過ごしたいものです。

食育は家族団らんの食卓から

「食育の日」健康推進員が街頭啓発



8月19日、スピカ前とAコープ前で、食育を広く知っていただくという街頭運動が行われました。毎月19日は食育の日。県食生活改善推進協議会では、「家族そろって食事を楽しみましょう」をテーマに1年を通して活動を展開しています。この日は、町の健康推進員の皆さんが、食育の日をPRするチラシ入りのティッシュを配り、買い物客に食育の大切さを呼びかけました。

第11回白鷹町建設業労働 災害防止大会

8月26日、パワーセンターで、建設業労働災害防止大会が行われました。建設現場での事故防止と安全衛生の確保を目的に商工会建設木材部会（衣袋志郎部会長）が主催。町内建設建築業の役員、社員約170人が出席しました。衣袋部会長は「地域防災など、町には建設業の力が必要とされている。それには自らの安全、衛生管理が大切。これからも心を引き締め、日々の仕事に取り組みよう」とあいさつしました。

その後、置賜総合支庁の小松地域振興監より「地域振興と現場における労働安全」と題した講演が行われました。ここ数年、町内の建設業では一人ひとりの心がけにより、現場での大きな事故は起こっていないという事。地域の生活基盤を支える仕事として、これからも安全にがんばってほしい。



大人としての第一歩 白鷹町成人式

8月15日、パワーセンターで白鷹町成人式が行われ、216人の若者が新成人となりました。

式では、来賓のかたがたのご祝辞に真剣な面持ちで聴き入り、成人として心を新たにしている様子でした。そして、新成人を代表して高木直人さん(十王)が「成人したことを自覚し、生命の重さを尊び、永遠の平和と繁栄を強く希求します」と誓いのことばを述べました。また、新成人代表の新納和也さん(荒砥)に町から記念品が贈られました。



その後の成人祭では、中学時代の恩師をお招きし、久しぶりに先生と生徒に戻り再会を喜び合い、当時の思い出話に花を咲かせました。

今回の成人式は、新成人の実行委員29人の皆さんによって2カ月ほど前から準備され、当日も裏方の運営に回ってがんばっている姿が見られました。

参加した皆さんも一体となりつくりあげた成人式は、また新たな思い出として心に刻まれることでしょう。

第23回町民ソフトボール大会の結果

期日：8月5日～8日

◆一般男子の部

- 1位 桜館エリーズ(鮎貝)
- 2位 ミラクルキッズ保護者会
- 3位 ミラクル(蚕桑)

◆一般女子の部

- 1位 蚕桑・鷹山女子
- 2位 鮎貝レディース
- 3位 東根女子

◆壮年の部

- 1位 白鷹エンゼルス
- 2位 鮎貝A
- 3位 西中ソフト部保護者会

役場ショーウィンドー
荒砥高校美術部の皆さんに模様替えしていただきました。

「ヤナにかかる落ち鮎」



第31回白鷹町勤労者ソフトボール大会の結果

期日：8月27日～29日

- 1位 (株)佐藤燃料店チーム
- 2位 日本GT(株)チーム
- 3位 しらたか不二サッシ(株)チーム

町役場チーム

※雨の影響で、決勝戦は9人の選手によるジャンケンで1位と2位を決め、3位決定戦は行わずに両チーム3位となりました。



▶町内の職場13チームが、白熱したゲームを繰り広げ、交流しました。

白鷹学講座「ハート3

「民俗信仰 草木塔への願い」
草木塔路傍の石仏・石塔めぐり

8月30日、十王・鷹山地区において、石仏・石塔めぐりが行われました。今回は、全国的にも珍しい草木供養塔、宝篋印塔型庚申塔こうじんとうのほか、称名寺や中山寺金比羅大権現堂を見学しました。

参加者は、講師の江口儀雄さんから説明を受け、生活に根ざした信仰心、自然や地域とのかわりを知り、先人の息づかいを感じました。また最後は、嶽山三十三観音に行き、先人がつくりあげた貴重な文化遺産を学びました。

路傍にある石塔にも人びとの思いが込められている。現代に生きるわたしたちが守るべきものは何か、問いかけられている気持ちになりました。



今年も…蔵王坊平高原に爽やかな風を…
 白鷹ジュニア女子駅伝チーム第3位入賞!!
 白鷹町チーム過去最高の成績でフィニッシュ!



ママチャリさんデザインのTシャツをユニフォームとして参加した白鷹ジュニアの選手団

去る8月3日、上山市蔵王坊平クロスカントリーコースにおいて、第11回山形県ジュニア駅伝競走大会・第33回蔵王坊平クロスカントリー大会が開催されました。

白鷹町チーム、選手27人で臨んだ本大会、選手は2カ月間に及ぶ練習の成果を発揮し、白鷹ジュニア女子チームが2年連続の入賞(昨年8位)で見事第3位入賞を果たし、白鷹町チーム過去最高の成績を収めました。

また、男子駅伝チームについては、総合第17位、クロスカントリー大会に出場の選手も、それぞれ練習の成果を十分に発揮してくれました。

大会当日は気温が上昇し、非常に過酷な条件で、自分の力を発揮できない選手が他市町村に数多く見られるなか、白鷹町チームの全員が最後までしっかりと走りきることができました。それは、学業、

部活動、学校行事などと練習会参加を両立し、2カ月間しっかりと研鑽を積んだ成果であると考えます。

白鷹町の代表としての誇りを胸に、大会参加にむけて続けてきた努力が、必ず実を結び、ついに活躍されることを期待します。

関係者の皆さま、応援してください。ありがとうございました。

- 白鷹町チーム「白鷹ジュニア」
- 総 監 督 小形富治男
 - 男子チーム監督 小形一美
 - 女子チーム監督 竹田則幸
 - ヘッドコーチ 高田 博
 - コーチ

- 赤間敏明 竹田雅量
- 駒津晋司 菅原陽子
- 沼澤伸壽 安部智勝
- 五十峯大貴 鈴木亮太
- マネージャー 橋本直樹

山形県ジュニア駅伝競走大会

(34市町村参加)

◆男子 第17位(48分08秒)

- 1区 紺野 圭汰(東中3年)
- 2区 菅間 伶史(東根小6年)
- 3区 高野 光(西中2年)
- ☆区間第7位
- 4区 白田 匠(鮎貝小6年)
- 5区 佐藤 剛士(西中2年)

◆女子 第3位(50分06秒)

- 1区 高橋あかね(東中3年)
- 2区 広川 夕季(荒砥小6年)
- ☆区間第6位
- 3区 高橋 彩花(東中1年)
- ☆区間第1位
- 4区 大滝 碧菜(鮎貝小6年)
- ☆区間新記録
- 5区 長谷川智子(東中3年)
- ☆区間第5位

蔵王坊平クロスカントリー大会

◆小学生男子2000位

- (完走169人)
- 竹田 裕道(鷹山小5年)
- 吉村 昂訓(蚕桑小6年)
- 小方 和馬(荒砥小5年)
- 菅 桂太朗(蚕桑小6年)
- 高野 翼(鮎貝小5年)

◆小学生女子2000位

- (完走160人)
- 橋本 美穂(東根小6年)
- 児玉 由夏(蚕桑小6年)
- 齋藤 恵(鷹山小5年)
- 梅津 桐里(東根小5年)
- 大類さくら(鮎貝小5年)
- 高橋 美咲(蚕桑小5年)
- 梅津 瞳(東根小6年)
- 鈴木 真優(荒砥小6年)
- 梅津 香穂(東根小5年)

◆中学生男子3000位

- (完走212人)
- 高橋英一郎(東中1年)

◆中学生女子3000位

- (完走183人)
- 岡部 楓(西中2年)



地域の 整備計画を 応援!!

宝くじ・コミュニティ助成事業

申請団体を募集します

あなたの地域で施設や設備などの整備計画はありませんか？

町では、皆さんがお住まいの地域や集落で「〇〇を広場として整備したいが…」「〇〇公園を桜でいっぱいになりたいんだけど…」など、地域や集落などを良くしていきたいという事業の計画を持っている団体を募集しています。

宝くじ・コミュニティ助成事業は、地域や集落などの団体が自らの地域活動など（コミュニティ活動）に必要な施設や設備の整備などを行う場合、その事業を応援する事業です。財源は宝くじの収益金が充てられています。

まずはご相談ください

実施にあたっては、「どのような事業であるか」「予算はどのくらいか」といった事業計画を町・県を通じ、財団法人自治総合センターに提出します。センターでは申請に基づく審査が行われ、「採択」となった事業が実施できることとなります。

まずはご相談からでも結構です。まちづくり推進課（自主防災組織育成事業は総務政策課）までお越しください。なお、事業実施を希望する団体は、9月29日（月）までにお申し込みください。



▲交流に活用される池
(いきいき深山郷親水広場整備事業)



▲桜がいっぱいの広場で健康づくり
(桜の健康広場づくり事業)

宝くじ・コミュニティ助成事業のメニュー及び助成額（例）

- 一般コミュニティ事業：100万円～250万円（コミュニティ活動に必要な施設や設備整備など）
 - 緑化推進コミュニティ事業：50万円～200万円（コミュニティ組織による植樹・植栽など）
 - 自主防災組織育成事業：30万円～最高200万円
(一定地域の自主防災組織の活動に必要な施設や設備整備など)
- ※組織の状況、申請の内容により助成限度額が変わります。

※助成金は、事業費の範囲内かつ財団法人自治総合センターから助成金の交付決定の通知があった金額で、10万円単位の助成となります。

※なお、内容の審査及び精査、また、応募多数の場合の最終的な申請団体の決定は、町に一任いただくこととなりますのでご了承ください。

○これまで実施された事業

| 年度 | 事業名 | 事業主体 | 概算事業費(助成額) |
|------|-----------------|-----------------|--------------|
| 平成15 | 中山ふれあい広場整備事業 | 中山区 | 276万円(250万円) |
| 平成16 | 上ノ台公園整備事業 | 西横田尻区 | 280万円(250万円) |
| 平成17 | 桜の健康運動広場づくり事業 | 荒砥第三区 | 202万円(200万円) |
| 平成18 | いきいき深山郷親水広場整備事業 | いきいき深山郷づくり推進協議会 | 289万円(250万円) |
| 平成19 | 萩野メモリーパーク整備事業 | 萩野区 | 262万円(250万円) |
| | 自主防災組織育成助成事業 | 貝生地区防災会 | 160万円(150万円) |

詳しくはまちづくり推進課企画振興係（☎85-6110）、担当：菅間、大木、御代田まで。

◇事業の概要は、広報しらたか5月号に掲載しています。

◆事業の概要は、広報しらたか5月号に掲載しています。

なお、申請から事業の採択まで早くても1週間程度の時間が必要となりますので、締め切り以前に「どのような事業なのか」「どのくらいの予算をみているのか」など、担当までご相談いただけます。

事業は毎月第1月曜日までを期限として、受け付けを行っています（次は10月6日です）。

その活動を応援する事業として実施している「協働のまちづくり推進事業」。10万円以上の事業を対象に、その事業費の約4割を助成します（取り組みの内容によって助成率が変わります）。

平成20年度協働のまちづくり推進事業助成希望団体の募集について

元気ニコニコ しらたか21

中間評価

◎すてきに年を重ねる高齢期の健康づくり～ふれあいのある暮らし

前期高齢者(65～74歳)要介護認定率 = $\frac{\text{前期高齢者要介護認定者}}{\text{前期高齢者被保険者}}$
 計画策定時 現状(平成19年度) 目標(平成22年度)



※計画策定時(平成14年度介護認定実績 平成14年10月を基に算出)
 ※前期高齢者要介護認定率の目標値は、人口の高齢化を勘案し、6.0%を超えないように設定しました。

前期高齢者(65～74歳)要介護認定状況

| 項目 \ 年度 | 平成 15 | 平成 16 | 平成 17 | 平成 18 | 平成 19 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 前期高齢者被保険者数 | 2,430 | 2,314 | 2,192 | 2,074 | 2,005 |
| 前期高齢者要介護認定者数 | 109 | 104 | 89 | 95 | 86 |
| 認定率(%) | 4.5 | 4.5 | 4.1 | 4.6 | 4.3 |

目標達成!

※毎年10月の認定状況を比較したもの。

介護保険利用と疾病について

前期高齢者のかたはどんな病気が原因で介護保険を利用することになったのでしょうか。平成19年度は多い順から、

- ①脳血管疾患
- ②アルツハイマー認知症
- ③関節リウマチで、

また、認定者の約半数が脳血管疾患(脳出血・脳梗塞など)でした。

**介護予防
=脳血管疾患を予防しよう!**



目標達成に向けての取り組み
 心身の健康を保持・増進することにより、要介護認定率を減らすことができず。そのために、地域では「いきいきサロン」などの活動を、町では健康診査・健康相談をはじめ、地域ケア会議では保健福祉医療ネットワークを構築し、活動を展開してきました。「いきいきサロン」は町内全域で開催しており、現在24カ所を実施しています。健康診査は、地区公民館(基本健診・特定健診など)と町立病院(人間ドック)で年1回は受診するよう勧めています。お年寄りの保健福祉医療の課題については、地域ケア会議などで情報を共有し対応しています。

健康のひろば

介護予防事業について

平成18年度より、介護保険を利用していない65歳以上のかたで、生活機能評価検査で「介護予防教室への参加をお勧めします」という結果のかたを対象に「介護予防教室」を開催しています。お年寄りが住み慣れた地域で、できる限り自立した生活を送れるように応援する健康づくり教室です。

平成20年度、白鷹町ではあゆみの園を会場に、介護予防教室「元気はつらつクラブ」を開催中です。

■お問い合わせは、地域包括支援センター(☎86-0112)まで

評価と今後の取り組み
 前期高齢者の要介護認定率は、目標(6%を超えない)を維持しています。さらに、計画策定の時よりも低くなっています。自立生活を送っているお年寄りのかたがたくさんいるという、大変うれしい結果でした。
 このような状況を維持向上するために、健康増進事業・特定健診・特定保健指導・介護予防事業の実施、地域で開催している「いきいきサロン」を増やすなど、町と町民の協働の健康づくり事業を進めます。
 そして、一人ひとりが楽しみや生きがいを持って、いきいきと暮らすことがさらに介護予防になるのです。

“元気ニコニコしらたか21”を町民と行政が協働で推進しています!(元気ニコニコ推進会議)



とんだかんちがい

Y男(年長児)「せんせい、せんせい!早く、早く来て!目つむってひっくり返ってんだよ!」
保育士「どごで?なにをしたなやー、転んだなあ?」
Y男「外で!まりちゃんが!!」

(園児にまりちゃんという名前の子はいないので)
保育士「まりちゃんて、誰だっけ?」
Y男「うさぎのまりちゃんだよ!」
保育士「あー!うさぎのまりちゃんがあ!」

白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク
見守り支え合い
お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します
介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センター Tel.86-0112

●認知症の八大法則と一原則

一人ひとりの症状は違って見えても、認知症のお年寄りには共通の特徴があります。どうしてそのような症状を示すのかを理解することで、介護者の対応は格段に楽になるはずですよ。

○第三法則

まだらぼけの法則

正常な部分と認知症状が混在

普通の人でも、ある面ではしっかりしているのに別の面ではだらしないといった、まだらな行動を示すことはよくあるものです。認知症が進行しても、すべての症状がいつぱんに出現するのではなく、必ず正常な部分と認知症の症状が混在しています。これがまだらぼけの法則です。

ほかのことはしつかりしているのに、ものやお金に対して異常に執着したり、失禁を繰り返したりすると家族はその言動をどう理解してよいのか迷います。また、初期の段階では、外見上は正常に見え、症状が特定の家族にだけ表れたりすることから、家族間での混乱や介護者のストレスが生じやすくなります。

失敗を怒るよりも、常識的には行わないような言動が見られる場合には、それは風邪をひいた人が熱を出したり、咳をしたりするのと同じように、認知症によって表れる症状なのだと割り切ることが大切です。

白鷹町認知症高齢者見守りステッカーを活用しましょう

ステッカーを掲示しているところは、認知症のかたの見守り、声かけに協力してくれます。「このごろ物忘れをして心配だ」「道がわからなくなると、地域でお年寄りの見守りをしてほしいかたは、気軽に相談してください。」



「町報川柳」 星 高橋 白兔 選

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|--------|--|-----------|-----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|----------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|---------|-------------|
| 佳作 | 一番星友とさがした幼き日 一度きり募る思いの織女星 願ひ事一つきいてよ流れ星 遠い星見て傍らの星さがす 都会では星の見えない七夕夜 星眺め視力矯正遠い過去 幸せの星は努力で掴み取る 北斗星眺めて泣いた青春期 星空を見上げる瞳輝いて 流れ星見たと曾孫の声弾む スターにはなれない影の立役者 あの星も二人の旅路知って居る 白星も黒星もある人生譜 温暖化何も変わらぬ夜の星 この星に生まれ育って旅に出る 彦星を間口一杯開けて待つ 温暖化北極星も汗をかか 逝きし友偲ぶまたたく星がある 満天の星に明日の夢託す | 秀逸 | 流れ星恋の軌道がフト迷う 幾星霜苦楽を共に夫婦旅 彦星に今年も届けラブソング 星空にプラス思考の笛を吹く 天の川愛の架け橋星ロマン 土に生き星をいただき暮らす日々 星占い今日の運勢賭けてみる 幾星霜辛苦に耐えて幸がある プロポーズ冬の星座の下でした 流れ星叶わぬ願ひロマンめく 満天の星を仰げる過疎の幸 究極の星は柩の中にある | 人位 | 地位 | 天位 | 軸 | 次回 | はがきに三句 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 佐野原 正子 | 荒砥甲 鈴木みき子 | 西高玉 コト | 十王 川部 隆雄 | 世田谷 遠藤 八重 | 横田尻 金田 れん | 十王 志鎌はるゑ | 山口 児玉 保子 | 山口 石川與次衛門 | 畔藤 梅津 とも | 高玉 片山 時美 | 浅立 梅津たつゑ | 荒砥甲 井澤芙佐子 | 荒砥乙 横山 陽子 | 荒砥甲 横山 直太 | 畔藤 川井 千代 | 滝野 安達 昭吾 | 貝生 保科 努 | 高岡 須貝 仲次 | 荒砥甲 五人野かをる | 畔藤 梅津 いと | 高玉 高橋 朝子 | 十王 鈴木 しげ | 高橋 植木 英夫 | 浅立 渡部喜美子 | 白兔 白兔 | 高橋 白兔 宛 | 白鷹町荒砥乙四二八一二 |

情報 あらかると Information!

インフォメーション

役場は ☎85-2111



●中途失聴・難聴者講演会 ▼いつ 9月27日(土) 午後4時〜 ▼どこで ホテルサンルート山形(山形市) ▼参加費 無料 ▼定員 150人
▼講師 山口利勝さん(山口福祉文化大学準教授) ■問い合わせ 山形県中途失聴・難聴者協会事務局(☎0238-1231-1839)

水を味わってみませんか。
*申し込みは不要。当日お集まりください。

▼次回開催 10月12日(日)

白鷹山縦走コース(予定)

■問い合わせ 元氣ニコニコ推進会議事務局(健康福祉課 健康推進係・☎86-0210)

のどか村「やきもの四人展」

▼いつ 9月13日(土)〜15日(祝・月) 午前10時〜午後5時

▼どこで いきいき深山郷のどか村

▼出展者

○佐藤シオ・寿窯

(作家デビューです)

○金田利之・深山工房つち団子

○太田智子・まな陶房

○樋口昌弘・中善寺窯

*やきものアウトレットも開催します。

■問い合わせ 深山工房つち団子(☎85-1807)



西中学校吹奏楽部演奏発表会

▼いつ 9月14日(日)

▼どこで 開演午後2時

▼入場料 無料

▼曲目 斑鳩の空、崖の上のポニョ、キセキほか

■問い合わせ 西中学校(☎85-2244)

鮎貝地区婦人会主催

語りと朗読の会

▼いつ 9月23日(火・祝)

▼どこで 鮎貝地区公民館

▼テーマ 「癒しのとき、和みのとき」〜語りと音楽のコラボレーション〜

▼内容 蜘蛛の糸、花咲き山、千の風になつてほか

▼出演者 語り：渡辺祥子

(朗読アーティスト)、音楽：梅津樹子

▼料金 大人500円、会員200円、小中学生200円

▼申込・問い合わせ 鮎貝地区婦人会長/梅津邦子(☎85-14450)

第3回最上川流域文化遺産

元船場米荷背負いとも煮会

参加者を募集します。最上

健康づくり講演会

21世紀を「健康」で生きるには

成人病に替わる新しい疾病概念として「生活習慣病」が提唱され、町では積極的に人間ドックや検診などを行ってきました。

このたび、町民の皆さんの健康生活への誘いとして、肺がんについての講演会を開催します。ぜひご参加ください。

●いつ 10月3日(金)

午後6時30分〜8時(受付午後6時)

●どこで 健康福祉センターすこやかホール

●演題 「こわい肺がん・こわくない肺がん」

●講師 大泉弘幸さん(山形大学医学部第二外科准教授)

●参加料 無料

■問い合わせ

町立病院事務局(☎85-2155)

健康福祉課健康推進係(☎86-0210)

川流域の文化遺産を盛り上げましょう。

▼いつ 9月28日(日)

▼【第1部】米荷背負い

▼時間 午前9時集合、9時30分スタート

▼集合場所 町上水道水源地

川原(荒砥新町地内)

▼内容 白米5kgを背負って

約800歩歩きゴールします。

▼コース 同地点(スタート)〜役場西口ポケットパーク

(ゴール)

▼参加賞 背負った白米を進

呈します。

▼対象 女性のみ

【第2部】川原のいも煮会

置賜地区合同教育研究会

映画上映会

▼時間 午前11時30分〜

▼どこで スタート地点川原

▼会費 500円

▼対象 どなたでも

▼締め切り 9月25日(木)

■問い合わせ 中川(☎85-3713)

山田洋次監督、西田敏行主演で話題となった映画「学校」そのモデルとなった先生と生徒たちのドキュメンタリー映画です。ぜひお越しください。

▼いつ 10月10日(金)

午後6時〜7時30分

元氣ニコニコウォーキング
▼いつ 9月14日(日) 午前6時30分〜9時30分(午前5時45分集合)
▼集合場所 健康福祉センター前(相乗で源流の森へ)
▼コース 白川ダム湖畔コース
▼内容 早朝の澄んだ空気を胸いっぱい吸い込み、湖畔の林間歩道をゆっくり歩きます。すばらしい湖畔の景色を眺めながら、冷たい飯豊山の伏流

(開場午後5時30分)
▼どこで タスパークホテル
▼上映映画 「こんばんは」
▼入場料 無料
■問い合わせ 置賜地区合同
教育研究会事務局(☎88-
4577)

第4回西置賜防災フェスタ

▼いつ 9月21日(日)午前
9時〜(午前のみ)
▼どこで 西置賜防災センタ
ー(長井市)
▼内容

- ①ヘリコプターが来るよ
- ②15mの高さから脱出してみ
よう
- ③地震を体験してみよう
- ④ミニ消防車に乗ってみよう
- ⑤煙から脱出してみよう
- ⑥くじ引きでプレゼント

※そのほかにもアトラクショ
ンとして幼年消防隊の演技や、
消防団音楽隊のライブ演奏も
あります。
※当日雨天の場合は、テレフ
オンサービス(☎84-011
9)にお問い合わせください。
■問い合わせ 西置賜防災セ
ンター(☎88-1839)

おきたま森の感謝祭

▼いつ 10月11日(土)

●自動車点検整備推進運動
問を強化月間として全国的に展開します。■問い合わせ

午前9時〜午後2時
▼どこで 21世紀不伐の森
(長井市)

- ▼内容
- ①オープニングアトラクション
長井小学校獅子舞
- ②式典・記念植樹(午前10時
〜11時)
- ③キノコ・特産品などの販売、
チェーンソーアート実演、
緑のプレゼントなど

■問い合わせ おきたま森の
感謝祭実行委員会事務局(☎
0238-3519053)

チェリア・フェスティバル山 形2008

▼いつ 10月19日(日)
午前10時〜午後4時

▼どこで 遊学館(山形市)

- ▼内容
- ①講演会「仕事も家族も守り
ます」佐々木常夫さん
- ②知事表彰受賞者による活動
内容発表会
- ③アトラクション「働く女の
事情」
- ④オープニングアトラクショ
ン「すべての人が共に楽し
む車いすダンス！」
- ⑤ワークショップ
- ⑥展示発表など

▼参加費 無料ですが、講演

会は整理券が必要です。
■申込・問い合わせ 山形県
男女共同参画センター(☎0
23-629-7751)

山形大都市・地域学研究所 公開講座「山形の魅力再発見」

山形から日本、世界の人が
どの心に残る功績を残した偉
人を紹介する講座です。
▼各プログラム(全3回)

- 【直江兼続VS最上義光】
- いつ 10月11日(土)午前
8時30分〜午後5時
- どこで 伝国の杜、めざみ
の里
- 【結城豊太郎の生涯】
- いつ 10月18日(土)
- どこで 山形大学人文学部

【安達峰一郎】

- いつ 10月25日(土)
- どこで 午後1時〜
山辺町安達峰一郎
記念館
- ▼受講料 6000円
- ▼募集人員 25人
- ▼締め切り 10月9日(木)

※詳しくはお問い合わせくだ
さい。
■申込・問い合わせ 山形大
学人文学部松尾研究室(☎0
23-628-4736)

紅葉の吾妻高層湿原 トレッキング

▼いつ 10月4日(土)
午前8時10分〜

▼内容 高山植物観賞、吾妻
山トレッキング

▼募集人員 18人
▼参加費 3000円

▼締め切り 9月25日(木)
■申込・問い合わせ 置賜森
林管理署業務課(☎0238
-62-2246)

特別支援教育ミニセミナー 子どもの「困り感」に寄り添 う支援

▼いつ 10月13日(月・祝)
午前10時〜午後2時50分

▼どこで アクティ米沢大会
議室

- ▼内容 講演、質疑応答
- ▼講師 佐藤暁さん(岡山大
学教育学部教授)
- ▼参加費 3000円
- ▼定員 100人

■問い合わせ 特別支援教育
ミニセミナーin山形実行委員
会/金子(☎080-600
8-6752)

広告



割烹館
TEL.86-0017

広告



七五三祝い写真 ご予約受付中
菅原写真館 白鷹町荒砥 でんわ 85-2057

●「8・28愛知県集中豪雨災害義援金」にご協力ください 日本赤十字社では、標記の義援金を受け付けています。ご協力をお願いいたします。
 ▼受付期間 10月2日(木)まで ▼受付場所 日赤白鷹町分区分(健康福祉センター内) ■問い合わせ 事務局/健康福祉課福祉係(☎86-0111)



県営住宅(あらとアパート)の 入居者募集

- ▼所在地 白鷹町大字荒砥乙725-1
- ▼募集戸数 一般用1戸
- ▼間取り 8+6+6+DK
- ▼家賃 月額2万3800円(5万2200円)
- ▼敷金 家賃の3カ月分
- ▼入居資格 住宅困窮者で、入居する世帯の収入が公営住宅法の基準以下で、県営住宅に同居する親族がいるかた
- ▼入居時期 11月下旬
- ▼募集期間 10月1日(水)～7日(火)
- ▼申込受付場所 置賜総合支庁西庁舎西置賜建設総務課
- 問い合わせ 山形県すまい情報センター(☎0238-2412332)

第4回町民グラウンド・ゴルフ大会参加者募集

- ▼いつ 9月27日(土) 昼12時15分～
- *雨天決行

▼どこで スポーツ公園芝生・野球場

▼参加資格 グラウンド・ゴルフ愛好者

▼定員 100人(先着)

▼参加費 500円(当日持参)

▼競技方法 個人戦で24ホールの総打数を競います。

▼締め切り 9月21日(日)

▼主催 白鷹町グラウンド・ゴルフ協会

■申込・問い合わせ 白鷹町グラウンド・ゴルフ協会/木村(☎・FAX85-5918)

エアロビクスで健康づくりを!

ダンベラーズ改めサークル「ゆうゆう」でエアロビクスを1カ月に2回企画しました。一緒にいい汗流しましょう。初めてのかたも大歓迎です。

▼当面の練習日程 9月22日(月)・10月20日(月)・27日(月)

▼時間 午後7時30分～8時30分

▼どこで 東根地区公民館

▼内容 エアロビクス

▼インストラクター 花輪和江さん(天童市在住)

▼参加費 1回500円

▼持ち物 シューズ、タオル、飲み物(水分補給用)

■問い合わせ 海老名(健康)

福祉課地域包括支援センター内/☎86-0112)



し尿汲み取り料金が 改定されます

平成20年10月1日から、し尿汲み取り料金が変更になります。

下水道の普及などで収集件数が減ったことや昨今の燃料高騰に伴って、収集コストが大幅に上がったこと、近隣市町の小国町と同額に設定することなどを理由とし、変更するものです。

【改定前】 10戸当たり「92円」

【改定後】 10戸当たり「118円」

※汲み取りは、これまでどおりテルス株式会社(☎85-2910)へ申し込みください。 ■問い合わせ 町民税務課くらし・環境推進係(☎85-6131)

置賜総合支庁西庁舎の 耐震改修工事を行います

山形県置賜総合支庁西庁舎(長井市高野町・昭和56年築)において、防災拠点施設耐震改修工事を行うことになりました。

工事期間は、今年9月中旬から平成21年3月10日までの予定です。この間、「西置賜総務課」「西置賜税務課」「西置賜用地課」「すまい情報センター」「健康相談室」は、西庁舎内の仮事務室に移動します。 来庁される皆さまには、大変ご不便とご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願ひいたします。

■問い合わせ 置賜総合支庁西庁舎総務課総務係(☎88-8204)

法務局からのお知らせ

長井市役所第二庁舎1階に、9月29日(月)から法務局が発行する証明書の交付窓口を設置することになりました。 ▼交付窓口で取り扱う業務 ○不動産及び会社・法人の登記事項証明書 *地図及び各種図面などの写しの請求はできません。

広告

Ahresty 株式会社
 平成20年8月 新工場完成
 更なる業務拡大に向け躍進し続けています
 株式会社 アーレスティ山形
 お問い合わせ 業務課 (Tel.85-5233)

*会社・法人の登記事項証明書請求には、印鑑カードをお持ちいただくか、お社・法人の代表者事項証明書及び印鑑証明書 *印鑑証明書請求には、印鑑カード及び代表者の生年月日が必要となります。 ▼利用時間 平日午前9時～昼12時、午後1時～4時30分 ■問い合わせ 山形地方法務局米沢支局(☎0238-2212148)

10月に支払われる年金から、 国民健康保険税の特別徴収(年金からの引き去り)が始まります

◆対象となるかたは…

7月中旬に発送した納税通知書の「国民健康保険税各期納付額明細」の「特別徴収」の欄に税額が表示されているかたです。

すでに年金特別徴収から口座振替へ変更する申出書を提出されたかたは、年金からの特別徴収ではなく、申し出いただいた口座からの引き去りになります。その旨の通知は9月12日(金)に発送します。

口座振替へ変更を希望されるかた

これまで国民健康保険税を滞納することなく納めていただいているかたで、これからの国民健康保険税を、年金特別徴収から口座振替へ変更を希望されるかたは、随時受け付けします。

※なお、受付時期により、国民健康保険税の特別徴収が停止する年金支払い月が異なることとなりますのでご了承願います。例えば、9月25日までに申し出いただいたかたは、12月の年金支給から変更となり、国民健康保険税は申し出いただいた口座からの引き去りになります。

社会保険料控除について

後期高齢者医療保険料や国民健康保険税などの社会保険料は、納付方法により所得税と町県民税の社会保険料控除の取り扱いが異なります。

●保険料等を公的年金から特別徴収(年金引き去り)により納付する場合

公的年金から特別徴収(年金引き去り)となる保険料は、年金受給者本人の社会保険料控除の対象となります。年金受給者本人以外の社会保険料控除とすることはできません。

●保険料を普通徴収(納付書等)により納付する場合

納付書により保険料を支払った場合には、その支払者(生計を一にするものに限る)の社会保険料控除の対象となります。また、口座振替の場合は振替口座名義人の社会保険料控除となります。

★広報しらたか7月22号でお知らせしましたとおり、一定の要件を満たした場合に後期高齢者医療保険料の支払い方法も特別徴収から口座振替に変更できます。

■問い合わせ 町民税務課

【国民健康保険税・町県民税について】町 税 係 (☎85-6132)

【後期高齢者医療について】国保医療係 (☎85-6130)



10月1日、全国で住宅・土地統計調査が行われます。

この調査は、豊かな住生活を実現するための大切な調査です。全国の約350万の世帯が対象となります。対象となった世帯には、調査員が調査票を持ってお宅にお伺いしますので、調査票への記入をお願いします。

なお、調査内容を統計の作成以外の目的に使用することは一切ありません。

■問い合わせ

総務政策課情報企画係 (☎85-6121)

◆いつ 9月29日(月)、10月6日(月)、15日(水)、20日(月)
午後7時～9時 (テキスト代含む)
◆参加料 1回1000円
*お茶とお菓子を用意します。
◆服装 少し体を動かします
ので、動きやすい服装でお越しください。
◆講師 小松伸子さん
◆どこで 中央公民館大ホール
◆締め切り 9月25日(木)
◆申込・問い合わせ 中央公民館庶務係(☎85-6143)
かた(先着30人)

たときの心地よさを一緒に体験しましょう。

「みんなであつたおじ」参加者募集

白鷹学講座企画委員会OB会・中央公民館共催

白鷹学講座で出会った小松伸子先生をお迎えし、昨年引き続き、今年も「みんなであつたおじ」をテーマに開催します。小松先生のテンポの良いご指導のもと、楽しい手遊び歌や次世代に伝えたい日本のうたを歌います。メロディを重ね、すてきなハーモニーが生まれるときの心地よさを一緒に体験しましょう。

戸籍の窓

●8月1日▶8月31日

ご結婚おめでとう

| | |
|------|-----|
| 氏名 | 住所 |
| 藤孝弘 | 荒砥乙 |
| 岡佐知 | 荒砥乙 |
| 袋智也 | 荒砥甲 |
| 伊藤祥子 | 山口藤 |
| 船山裕介 | 畔陽 |
| 須藤彩 | 南陽 |

こんにちは赤ちゃん

| | | | |
|-----|------|-----|-------------|
| 住所 | 父母の名 | 子の名 | 名や愛史生と人世生絆り |
| 十王山 | 梅津秀美 | 樹保朔 | あまし生 |
| 荒砥乙 | 横澤恵 | 淳美玲 | れん創 |
| 浅立 | 伊藤利恵 | 史理創 | か快 |
| 深山 | 中村真茜 | 真茜俊 | しゅん俊 |
| 荒砥甲 | 鈴木幸恵 | 治美一 | いっ一 |
| 佐野原 | 竹田潤亜 | 樹美友 | よ耀 |
| 萩野 | 清野圭美 | 沙希心 | こ心 |
| 畔藤 | 紺野悟紀 | 志子葵 | ま葵 |

おくやみ

| | | |
|-----|------|----|
| 住所 | 氏名 | 年齢 |
| 浅立 | 鈴木よ | 89 |
| 佐野原 | 竹田甚 | 79 |
| 浅立 | 平吹健 | 74 |
| 高玉 | 今野保 | 83 |
| 高玉 | 児玉さ | 86 |
| 鮎貝 | 植木い | 91 |
| 荒砥甲 | 漆山喜 | 57 |
| 荒砥甲 | 高橋寛 | 89 |
| 萩野 | 海老名た | 81 |
| 広野 | 新野貞 | 81 |
| 荒砥甲 | 長谷川光 | 80 |
| 荒砥甲 | 土谷勇 | 94 |
| 畔藤 | 藤齋新 | 76 |
| 荒砥乙 | 工藤敏 | 79 |
| 鮎貝 | 赤間修 | 78 |
| 畔藤 | 澁谷寛 | 76 |
| 荒砥甲 | 佐竹ま | 56 |
| 荒砥甲 | 佐藤榮 | 83 |
| 横田 | 尻野三 | 92 |
| 高岡 | 安部よ | 83 |

山形市での町村会の会議が終わり、午後、白鷹町に帰る途中のこと。国道348号の右側の低い山並みに、赤松の木々との間にパレス松風が見え隠れしていた。赤松というと、常緑針葉樹で日本各地どこでも、よく日の当たる場所に自生する、樹皮は赤褐色、姿はすらりとした高い木である。青い空と白い雲の中、風が木々の間を通り抜け、緑の枝を揺らすとき、人びとの心に自然の爽快さを感じさせる。

先般、秋田県の元矢島町長と、地域の特産と産業について話し合う機会があった。鳥海山麓の旧矢島町では、赤松の幹の一部を活用して「餅」をつくる風習があり、特に、正月にはできた餅をお供えしたという。話によると、赤松の樹皮をはぐと白い木肌の部分がある。その木肌をはぎ、芯を除き湯で煮る。煮上がったものをたいて柔らかくし、団子状にして餅米の餅と

混ぜ合わせて「餅」をつくる。今はそのようなつくり方はなくなつたが、町のある農家のかたが、これにヒントを得て、従来のつくり方のもと、中に「あん」や「ずんだん」を入れて新商品「松皮餅のまんじゅう」を考案。インターネットで販売し、ヒット商品となつてきているという。松の香りがほんのりとし、おいしい

町長随想 『赤松』

しらたか春夏秋冬

81

ある。「白い木肌を煮るときは、その芯を取り除き、重曹を入れて煮た。保存する場合は白で粉にしておき、餅米と一緒に炊き、餅をつくつたと記憶している」という。

白鷹町では伝説となつた食。今、これがどのような価値を持つかはわからない。秋田県鳥海山麓と白鷹町の地域で、長い歴史の中で赤松という、自然に存する小さな素材をもとにして、自分自身が知り得なかつた「食について」完全に一致点があつたことを識つたことは、うれしい。

つくられた由来は何なのか。調べてみると、松は長寿を表し、緑色はめでたさを表すため、祝い事で用いられるという。ひな

祭りに3色のひし餅（白餅、よもぎ餅、松皮餅）としてつくられたとあつた。また一方で、江戸時代に何も食べるものが無く、松の皮をはいで食べたのが始まりという説もある。餅の中に入れてしたのは、その飢饉の苦しさを忘れないため、行事のたびに松皮入りの餅を食べ、記憶にとどめたということ。

さらに、研究によつて松の皮の成分が健康に良いといわれるようになったが、先人たちはそのことを経験的に知つていたのかも知れない。

人びとの糧として、祈りとして生活の中から生まれた文化。それが別の地域で伝えられてきた。感慨深いものがある。

今日も大平山には、赤松が涼風に揺れている。その上には突き抜けるほどの青い空。秋の訪れを感じる。

橋本光記

▼編集後記は、昭和48年7月15日発行の第185号から登場しました。「編集室」の名で書かれていましたが、いったん紙面から姿を消します。そして、昭和63年度に復活し、平成2年度から現在と同じ「SELF JUDGE」となりました。

▼本号は町の「現在」を伝えていますが、来月には「過去」となります。しかし、単に過ぎ去るものではない「歴史」の一端をつくり、伝えていけるのだと、振り返るなかで実感しました。2000号は42年後。その時代に見返したとき、目に止まってくれる広報紙を目指したいと思ひます。（つめつ）



広報しらたかは再生紙を使用しています。